

第24回全日本少年少女空手道選手権大会

監督会議資料

審判長 佐伯 進
副審判長 五十嵐 理 小島 万記

1、全体の注意点

(1) 運営面

- ① 選手が入場し整列した状態で開始式を行う。(最初の競技のみ)
選手はモニターの前、監督は控え席、審判員は所定の位置。
- ② アリーナ内に持ち込めるものは、タオル・ペットボトル・帯を入れる簡易な袋のみ。
- ③ IDカードは、チェックのみとし回収はしない。ただしドクターの記入のあるものは回収しコート主任に渡す。コート主任は確認後選手に戻す。
- ④ 道着、帯、ゼッケン、安全具チェックについては、各コートにておこなう。
特に、上着の長さは大腿部の4分の3まで、ゼッケンの縫い付け、マジックテープの強度をチェックする。(特にメンホー・拳サポーター)
当該試合時にコートで組手2分、形1分ルールが適用となった選手の監督はその試合につくことができない。
※空手衣の長さについては、一回で違反と判断するのではなく、教育的な観点から指導し試合出場を出来る限り妨げないように考慮し柔軟に対応をする。
- ⑤ 正副審判長とコート主任は全体連絡を取るために携帯電話等を使用する場合がある。
- ⑥ 監督会議を先に行うため、その後の審判会議で追加決定したものは改めて通達する。
- ⑦ 競技での「正面に礼」はステージ側を向いて行う。(全小・パラ・体重別大会共通事項)
後列E,F,G,Hコートは前列と逆となるが正面はステージ側とする。 *→ 評員は*
- ⑧ 組手2分、形1分ルールが適用されていない選手に対しては、監督・コーチが途中から監督席に付くことを可とする。

(2) 異議申し立てについて

- ① 試合中の場合はすぐにおこなう。
- ② 試合後の場合はコート主任へ申し立てる。
- ③ 次の試合が始まった場合は異議申し立てを受け付けない。

(3) 服装

- ① 選手は競技規定に沿った清潔な白の空手衣を着用すること。空手衣メーカーについては指定をしない。
- ② 左胸に県名を入れること。
空手衣の袖や裾が長い場合は内側に折って縫い合わせてあるものは許可する。
- ③ 出場選手は参加賞のワッペンを空手衣の左肩口に縫い付けること。
- ④ 監督、コーチは大会実施要項8-(6)-(7)に記載されている服装とする。空手衣ではなくダークスーツ又はジャケット・ブレザー(昨年とは異なる)
※ただし、全空連指定の青のネクタイは着用可とする。

(4) 組手安全具

- ① 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、ニューメンホー (No. VII)、メンホー用マウスシールド(ミズノ製)任意装着、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガード。(新型旧型共に可)
※安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。

- ② 小学3～6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを着装すること。1、2年生は所属の指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。

2、組手競技

(1) 運営面

- ① 3位決定戦は行わない。
- ② 競技時間は1分30秒フルタイム 6ポイント差とする。
- ③ 競技規定(旧ルールブック黄色本P68)※12歳未満の禁止事項を適用
(大会実施要項8-(7)競技規定部分を参照)
- ④ 負けた選手から随時退場する。
- ⑤ 試合時の入退場について
スコアボードに名前が出たら、主審にゼッケンを見せてコート内に入る。名前のコールはなし。
試合前後は礼をし、ハグ、グータッチ、握手等はしない。
- ⑥ 試合が連続する場合
コーナーが変わる場合は3分、同じコーナーの場合は1分30秒のインターバルをとる。
- ⑦ 監督は必要以上の指示をしない。2回主審に注意された場合、その試合は退場となる。

3、形競技

(1) 運営面

- ① 選手の出入りについて
 - ・選手はコートの角（コーナー）に待機し、スコアボードに自分の名前と形名が表示されたらコートへ入り演武を始める。（名前は呼ばれない）演武終了後、礼をしたのち、真っ直ぐに後ろに下がり判定を待つ。判定結果はシステムで確認する。
 - ・コート出入りの礼はしない。ok
- ② 礼について。（監督の促し）演武開始前及び終了後の礼を忘れた場合は違反（反則）となります。特に低学年の選手には事前に監督より指導をお願い致します。
- ③ 形名を先に言い、その後に礼をした場合は減点となります。

◇1回戦からベスト8まで（2名同時演武）

- ① 旗方式・トーナメント方式で行う。
- ② 負けた選手から随時退場する。

◇準決勝ラウンド（1名ずつ演武）

- ① 得点方式で行う。
- ② 準決勝ラウンドに進んだ8名がAグループ4名とBグループ4名に分かれる。
- ③ ラウンド開始・終了の挨拶は審判団に向かって横一列に並んで行う。
- ④ ラウンド演武順は抽選で順番を決める。→ コート前の抽選

◇3位決定戦（1名ずつ演武）

- ① Aグループの2位とBグループの3位、Aグループ3位とBグループ2位で行う。

◇決勝戦（1名ずつ演武）

- ① 各グループの1位同士で行う。

(2) 形の指定

- ・1回戦からベスト8までは基本形とする。同じ形を繰り返し演武することができる。
- ・準決勝ラウンドは1回戦からベスト8までで使用していない基本形、もしくは第1指定形・第2指定形とする。
- ・3位決定戦、決勝戦はそれまでに使用していない基本形・第1指定形・第2指定形とする。

第24回 全日本少年少女空手道選手権大会 形競技個人戦 解説

① 予選 1回戦～4回戦（ベスト8が決まるまで）旗方式トーナメント／2名同時演武

<p>基本形一から四</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲキサイ第一 ・ゲキサイ第二 ・平安初段～五段 ・ビアン初段～五段 	<ul style="list-style-type: none"> ・トーナメントのため、勝ち上がりの段階で帯の色が変わる場合があるので、赤、青両方の帯を持参すること ・コートのコーナーから演武位置まで斜めに入場する ・演武開始の礼の後、赤、青の順に形名を呼称する ・主審(J1)の笛の合図の後、演武を開始する ・演武終了の礼の後、選手はコートエンドまで下がって判定を待つ ・判定の後、お互いに礼、正面に礼をして退場する ・次の回戦進出者は、形エントリーカードに演武形名を番号で記入し、所定の場所に提示する ・準決勝ラウンド進出者は、形エントリーカードに準決勝ラウンドの演武形名を番号で記入し、所定の場所に提示する
--	--

② 準決勝ラウンド 得点方式／1名ずつ演武

<ul style="list-style-type: none"> ・第一指定形 ・第二指定形 ・①予選で使用していない基本形 	<ul style="list-style-type: none"> ・8名の競技者は2つのグループ（Aグループ・Bグループに分けられる） ・A.Bコート及びE.Fコートで勝ち残った4名をAグループとする ・C.Dコート及びG.Hコートで勝ち残った4名をBグループとする ・各グループ4名の演武順はシステムにより自動的に抽選される ・Aグループは赤帯を、Bグループは青帯を締めること ・入退場、演武開始終了に関することは予選と同様となる ・4名の演武が終了した時点で順位を発表する ・各グループの1位から3位までの選手が決勝ラウンドに進む ・1位は決勝戦、2位と3位は3位決定戦、各グループ4位は全体の7位が確定する ・決勝ラウンド進出者は、形エントリーカードに決勝ラウンドの演武形名を番号で記入し、所定の場所に提示する
<p>同点の処理</p>	<p>・電子システムによる同点解決方法を採用する。それでも解決しない場合は再演武</p>
<p>再演武の形</p>	<p>※再演武で使用できる形は準決勝で使用していない基本形・第一、第二指定形とする。 <small>（この以外の形）</small> なお、再演武で使用した形は3位決定戦・決勝戦に使用しても良い。 （予選で使用した形も可）</p>

③ 決勝ラウンド 得点方式／3位決定戦及び決勝戦は1名ずつ演武

<ul style="list-style-type: none"> ・①②の本戦で使用していない第一指定形 ・第二指定形 ・基本形 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aグループから決勝ラウンドに進む選手は赤帯を、Bグループは青帯を締める 【3位決定戦】 ・A.C.E.Gコートでは、Aグループの2位とBグループの3位が、 ・B.D.F.Hコートでは、Aグループの3位とBグループの2位が競技する ・赤、青の順に演武する ・演武終了後、ジャッジ1は選手の間立って勝者を宣告する ・宣告後、ジャッジ1の号令により、礼をして退場する 【決勝戦】 ・Bコート及びCコートで行う ・赤、青の順に演武する ・両名の演武が終了したら、ジャッジ1は選手の間立って勝者を宣告する ・宣告後、ジャッジ1の号令により、礼をして退場する
<p>同点の処理</p>	<p>・電子システムによる同点解決方法を採用する。それでも解決しない場合は再演武</p>
<p>再演武の形</p>	<p>※再演武で使用する形は基本形・第一、二指定形(今まで使用した形も含む)の中から選定する。</p>

全ok. (決勝使用可もok)

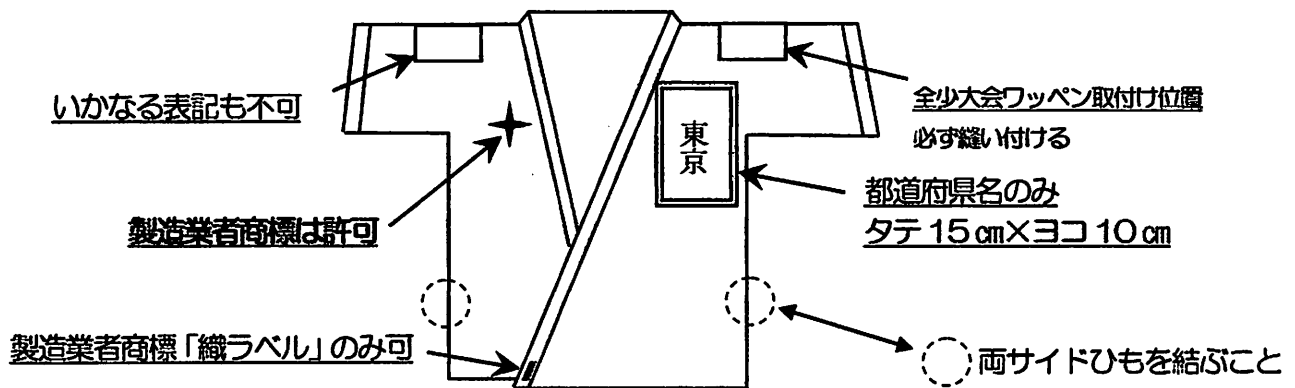
※得意形は不可

全々の形競技は3つの形から選定可

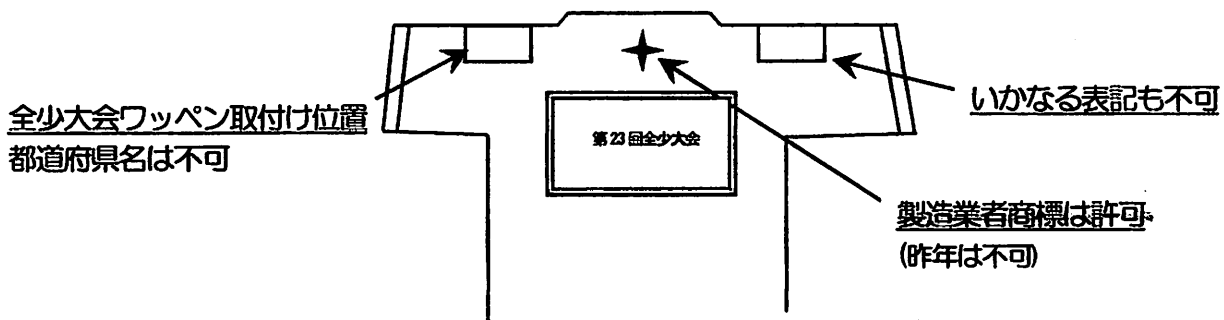
ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項

空手着の製造業者商標のラベルの表記については、製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）にはじめから付けられた「織ラベル」は可。今大会で指定された以外のワッペン、刺繍等は一切認めない。※各流派等のオリジナルラベルは認める。

表



裏



【空手衣について】 氏名・ゼッケン・都道府県ワッペン・全少参加賞ワッペン・製造業者商標「織ラベル」以外の装飾は不可。ゼッケンはしっかりと縫い付けること。

【帯について】 刺繍可（刺繍糸の色は問わない）